

小江戸薬局

- 本社所在地：埼玉県川越市脇田本町13-5
- 事業概要：関東圏を中心に調剤薬局事業を展開する、地域に密着した調剤薬局チェーンです。
- 常時使用する従業員：215名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：52億円
(2026年3月期)
- 法人番号：5013301028506
- Web：https://intron.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
増子 治樹

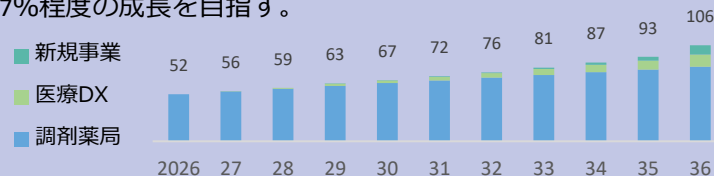
選ばれる薬局を目指し、イントロン健康圏の実現へ

イントロンは1993年の創業以来、「選ばれる薬局」という言葉を、事業の根幹となる価値観に掲げて、医薬分業時代を邁進してまいりました。セルフメディケーションの重要性が高まるこれからの時代に、皆様一人ひとりと向き合う「人中心のサービス」を提供する健康相談拠点となり、日本のさまざまな医療問題を解決し、皆様の生活や社会をより良きものにするために取り組んでまいります。病気からの完治・緩和、そして健康増進へとすべての人々の健康長寿を実現する社会を目指し、さらなる努力を重ねてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高達成に向け、調剤・医療DX・新規事業を軸に、年率7%程度の成長を目指す。



課題

- ・調剤薬局：継続的な出店候補地の確保と、地域医療機関との連携強化による安定した収益基盤の拡大
- ・医療DX：薬局支援システムYPPP(あなたの調剤薬局) I-pjt(臨床データ活用妊婦・プレコン向け栄養提供・フォロー)導入拡大に向けた認知向上、利用定着の促進、臨床データ蓄積
- ・新規事業：インドネシア特定技能育成学校の安定運営に向けた教育体制整備、日本国内介護施設との受入連携強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①調剤薬局事業 新規出店：+30億円
埼玉ドミナント戦略による年間1店舗出店
10年間で20店舗体制拡大
- ②医療DX事業(YPPP・I-pjt事業)：+10億円
全国展開・利用率向上・臨床エビデンス蓄積による中核事業化
- ③新規事業 日本の地域医療・介護を支える人材供給：+10億円
地域医療を支える人材基盤の強化を目的に、インドネシアで特定技能育成学校を展開し、地域介護を支える国際的人材循環モデルを構築する。

実施体制

代表取締役を統括責任者とし、「調剤薬局事業」「医療DX事業」「新規事業」の3領域を全社横断で推進する体制を構築する。
調剤薬局事業：店舗開発責任者を中心に埼玉県内ドミナント戦略による新規出店を推進する。
医療DX事業：YPPP・I-pjtの全国展開、利用促進、臨床実績の蓄積を進める。
新規事業：現地教育機関および国内介護事業者と連携し、インドネシアでの特定技能育成学校の展開を進める。各事業の進捗は経営会議で定期的に管理し、迅速な意思決定と戦略修正を行う。